脱施設化ガイドライン案への世界のコメント（2022年6月）　No.8

# 提出書類

# 緊急事態対応を含む脱施設化に関するガイドライン案に関する意見書

# （国連障害者権利委員会宛て）

提出者

「精神（psychosocial）障害」と診断された女性

サポート

スロベニア共和国社会保護研究所

Validity財団　ー精神障害者人権擁護センター

2022年6月30日

　私は、精神障害と診断された女性です。ずっと地域で暮らしてきましたが、過去に精神科病院に入院したことがあります。

自立生活の重要性

　自立生活の本質は、その人が自由に生活し、社会生活に溶け込み、自分で判断した優先順位でニーズ、必要性、期待を満たすことです。人は自分の人生を自分で決め、そして社会に参加するものです。また、さまざまな団体や精神保健サービスに関わり、他の参加者を支援したり、地域サービスで変更すべきことを提案したりすることができます。本人が必要だと思えば、十分なサポートを受けられることが重要です。障害のある人のための個別計画では、どこで、何を、どのような方法でサポートしてもらいたいかを決められようになっていなければなりません。また、ピアサポートワーカーとして、他の人の支援ネットワークに参加することもできます。

ピアワーカーの重要性

　ピアサポートワーカーが重要なのは、私たちには経験があるからです。精神科の危機を乗り越え、入院がどんな感じか知っており、現在困難な状況にある当事者に共感しやすいからです。研究結果では、ピアサポートは歓迎されること、当事者がより良い自己イメージを持つこと、必要な情報が得られること、利用者の間に信頼関係が築かれること、自分の状況に対処する方法がより簡単に得られるという希望を抱かせることが証明されています。ピアワークは、対等な関係、相互の助け合いを発展させ、苦痛は当事者が置かれている今この場で解決し、危機を克服するために利用者に役立つ知識や技術を発達させることに重点を置いています。ピアの価値はまだ専門家より低いと思われがちで低レベルの仕事、労働時間も短いのですが、有用な援助であることが研究によって示されています。

ピアサポートを行う上で重要なこと：

* ピアサポートの仕事の有償化
* 地域コミュニティのレベルでの、精神保健分野の異なるNGOのピアグループとのコンタクトと協力の確立。オープンでインクルーシブな、独立または協力関係のあるプログラムの開発・確立
* ピアサポートのための人材的、実施場面的、実施組織的な面の見直しと強化、経験の交換、体制とトピックに応じた実施形態の選択
* 地域社会レベルでの一般的形式の研修の計画、組織、実施
* 地域サービスの他の関係者（国や地域社会）との水平的・垂直的な協力と調整
* 事前に研修を受けた自社スタッフ（ピアワーカー）および外部協力者や専門家との協力による、様々な形態の研修、エンパワーメント、国民的会議のような場におけるリテラシー教育などの実施。また、適正な費用の調達先の調整
* ピアサポート活動のためのグループ/チームのリーダーおよびメンバーの研修、プログラム開発
* セルフヘルプ／ヘルプグループ／チームのリーダーおよびメンバーのトレーニング、プログラム開発
* セルフアドボカシーおよびアドボカシーのグループ／チームのリーダーおよびメンバーのトレーニング、プログラム開発

注：この投稿で示された見解は、インタビューされた一個人のものであり、必ずしも当事者が協議プロセスに参加することを可能にしたヴァリディティ財団（Validity）の意見を反映するものではありません。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（訳　2023年4月： 尾上裕亮、岡本 明、佐藤久夫）